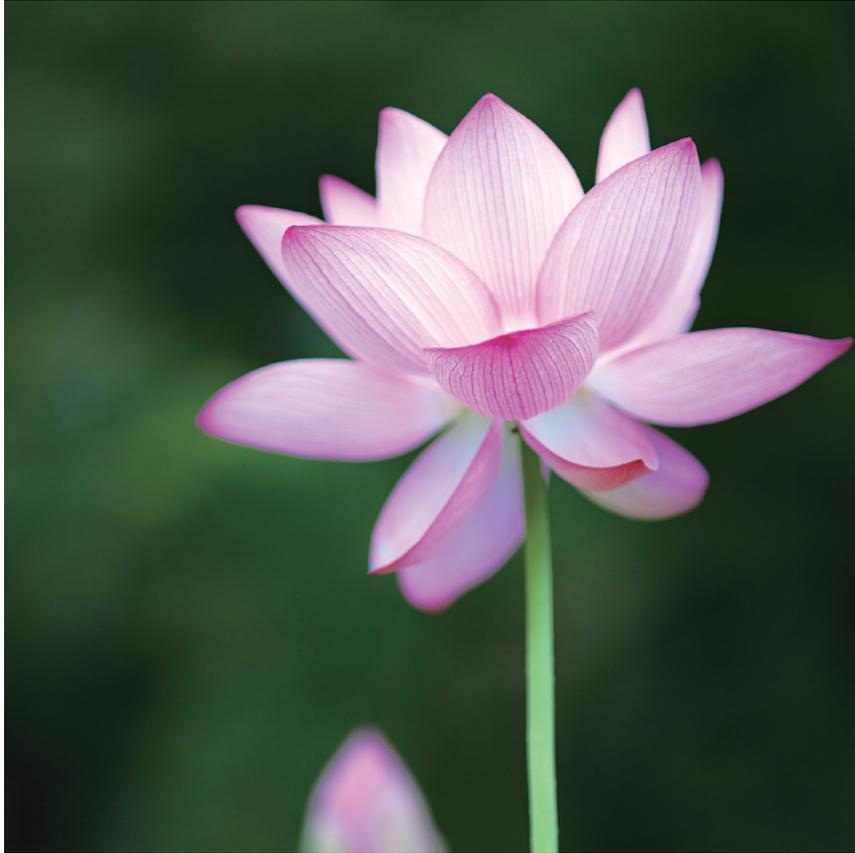


先祖彼岸大供養会

9月21日(金) 午前9時半より



轉法輪

病に^{まひ}応じて^{くすり}薬を^と投じ、
迷を^{まよ}悲しんで^{しな}指南す。

性霊集

平成三十年九月一日発行
発行所 犬飼山轉法輪寺
〒六三七一〇〇七二
奈良県五條市犬飼町一二四
電話〇七四七二二一四四〇三
FAX〇七四七一五二四七一七
編集発行人 桑山聖淳
印刷所 森本印刷工業所
和・伊都郡かつらぎ町妙寺

ツクツクボウシに選手交代、コオロギや鈴虫の合唱団がお寺のBGM係に変わりつつあります。移り変わらぬものはないことを、自然から教えられるようです。檀信徒の皆様はいかがお過ごしでしょうか。秋のおまつりにご参拝下さいますよう、ご案内いたします。

秋のお彼岸法会

九月二十一日(金)

先祖彼岸供養法会 九時半より

法話 午前十一時より

福岡県普門院

本山布教師 才田亮舜 僧正

丹生狩場明神祭

十月十三日(第二主曜日) 十時より

御受戒会

十一月二十一日(水) 九時半より

皆さまのご参拝お待ちしております。

犬飼山轉法輪寺

お大師さま 教えは一つであっても、方法はさまざまです。目の前の人に何が効くか分かるには、
のお言葉 相手のことをよく理解することから。苦しみや争いを無くす第一歩です。

お給仕すること
拜むこと

住職 桑山 慈紹



今回は、家庭円満・福寿健康に導かれるために、私たちが毎日するべきことについてお話しをします。あるときAさんが、娘の心の健康のた

め参拝されました。話を聞いている間に、ご先祖さまの供養の話になりました。

Aさんいわく、「五十回忌が済んだご先祖さまにはお供え物はいらないし、お経を唱える意味はないと思っています。まだ亡くなつてから日が浅い方は、お供え物を受けることを喜ばれるだろうから、五十回忌までの仏様には、お茶やご飯を供えてお経をお唱えしています。」と言われました。Aさんとしては、五十回忌を迎えられたご先祖様方は、この世の欲気・色気を卒業して、立派な仏様の仲間入りをされ、もう何もいらぬという境地になつていられるだろうという考えなのです。

「だからといって御仏飯もお経もナシでいいのでしょうか？ 私には、「立派な仏様になられていられるからといって、何もなくていい訳ではありま

せんヨ。子孫の我々が報恩感謝の誠を捧げることが大切なのです。五十回忌が済んでも、百回忌を迎えても、毎日お茶やご飯をお供えして手を合わせる姿勢に、ご先祖さまはお喜びになるんじゃないですか。」とお答えして、続いて神様へのお給仕についても尋ねてみました。「神棚は家にありますので、月初めの一日はきちんとお供えしています。」との返答です。神様はずっと家を守って頂いているのです。やはりそれでは不十分だとお答えをしました。「神様を我々に置き換えて考えるとどうでしょう。月一度きりの食事で一カ月も動けるでしょうか。毎日、塩・水・洗米、出来ればお酒も供えて拜んで下さい。」

仏様にしても、神様にしても、お供えが要らなくなることはありません。私たちがおかげを頂きたい、守

毎月21日は月並御影供(9時半～)・28日は不動尊護摩供(9時～)です。
どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。

輪 法 轉 (3)

つてほしいとお願いをすれば、この世に現れて働いてくれているのですから。

また、お供えをする行いに有難さがあります。お給仕の際には仏様神様のすぐそばにすることにします。その時、神仏の光に照らされているのです。時たまのことでは分かりませんが、毎日続けることで有難さを体で感じられるようになります。信仰とはこのように、頭では理解できないところがあります。身体を通じて味わう、体験の世界なのです。

Aさんには、娘さんと共に毎日お給仕と拝むことを勧めました。続ければきつと、心は穏やかになり円満な家庭に導かれていくことだと信じています。



合掌

生かせいのうち

【第五十九話】

名誉住職 桑山聖規



暑さ寒さも彼岸までと昔より言い伝えられた、秋の彼岸会が目前となりました。

彼岸に死者の霊を丁寧ていねいに供養する

のはなぜでしょうか。生きている自分たちがこの季節に寒暑の苦難が去り、自然の樂が与えられるとき、霊界も苦しい世界より解脱して救われることを願ったことが理由の一つと言われます。

私達の靈魂は、死後六つの世界のどれかに入り輪廻すると説かれています。それは地獄・餓鬼・畜生・修羅・人界・天界の六道で、一人一人の造った善悪の行いの業力により次の世界が決められるのです。決定してから泣いても変更は許されません。私たちはいま人界で楽しく暮らしていますが、それは前世の善業によるもので、これから悪いことを重ねれば、地獄餓鬼畜生の三悪道に転落して行かねばなりません。仏教はそれを救うために善道を説き、正しい生活で毎日佛を拝むように説教するのです。

水子の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時からお勤めを致します。

罪を犯し刑務所に入っている人々に会いに行く宗教家があります。彼らは教誨師といって、罰を受けた人の心を救済し支えるため、教えを説きに行きます。教誨師は哀れみの心一杯で、獄舎で暮らしている姿を拝み、「あなたは尊い佛の子でありながら、道はずれた行いをした為にいま此処にいるのです。本来佛の子ですから、反省努力すればあなたの心中の佛性が目覚めます。刑罰が解かれるまで毎日懺悔して修行するのです。いまは迷っているけれど、必ず善の道に戻れるのです。」と説得します。心をこめて話すと泣き出す人もあるようです。受刑期を終えて身元を引き受けてくれる親族方々も、佛性を拝み愛眼を持って接していくことが大切になります。

道元禪師は「菩提薩埵四摂法」にお

いて、布施・愛語・利行・同事を説かれました。施しをすること・思いやりのある言葉かけ・人の為に行動すること・相手を思っって行動を共にすることの四つです。これは日々の暮らしの中でも出来る菩薩の修行であり、自他ともに佛性を目覚めさせる行いです。暗い心を明るく救済する大切なことです。迷い苦しみの此岸より、喜びに満ちた向こうの岸、彼岸にみな手を取り合っって行きましょう。

九月二十一日は秋の彼岸供養法要に、檀信徒皆様の御先祖供養をさせて頂きます。先祖一切精霊がみな成佛されて余慶が子孫に輝くように、お知り合いの方々をお誘いしてご参詣下さい。当日は福岡県普門院より、本山布教師才田亮舜僧正の有難い法話があります。

南無大師遍照金剛

空海紙芝居

との出会い

グループおひさま

今から三年前の冬、高野山のお寺が私達、グループおひさまの最初の講演でした。

紺と紫をメインにかかれた十五枚の絵は、独りでに語り出すような美しい油絵です。絵は画家の金田賢治氏、私たちは先生から絵をお預かりして、絵に基づきシナリオ、音楽、衣装を決め、講演日時が決まったその日、先生の計報が伝えられました。金田先生の遺作となった紙芝居の空海を私たちは一人でも多くの人にご覧頂きお伝えしたいと思っっています。

私達四人は何かの強いご縁に導かれ集まり、それぞれの個性を恥ずかしげもなく出し、方言丸出しでやらせても

輪

法

轉

(5)

らっている、おばあちゃんグループです。空海紙芝居を始めた最初の頃は、全国の真言宗のお寺三六〇〇ヶ寺をまわり最終は中国赤岸鎮で講演を出来たらしいな、と無謀で厚かましいことを言っておりましたが、いまだ三十六ヶ寺も廻らせて頂いておりません。それでもお陰様で地元の愛情で各地域の子どもさんやお年寄りには結構聞いて頂くようにはなりました。講演を積み重ね、その度に練習を至極真面目にする私達ですが、一度もノーマスで終わった日はなく、空海さんごめんなさい、と手を合わせています。振り返りますと、私達のそばにいつも空海大師様が姿を変えてお力を与えて下さっているように思うのです。

私達は人生で紙芝居を語るなど予想もしておりませんでした。そんな私たちがご縁を頂いたのは、ある公民館で、高野山奥ノ院燈籠堂の消えずの灯り、「お照の一灯」の話を講演したことで

した。講演後の反省会の中で、絵があれば聴衆の方々がイメージしやすいと気付いたので。それは今のような紙芝居で語るのではなく、簡単な絵の予定でした。そんな時に偶然お知り合いになった女性が「貧女の一灯・お照の一灯」の話に感動し、私達が想像も及ばない不思議な力で人を集め、あつという間に人々の寄付で十六メートルの絵巻物が出来上がりました。素人の私達は高木宏・田中かなえ先生に語りの指導も頂きました。大勢の愛情で作られた紙芝居を総本山金剛峯寺に奉納。その後私達に預らせて頂き、そして二年後高野町から空海一代記をやらないかとお声掛けがあり、二作を持つようになりました。紙芝居のお陰であちらこちらと見知らぬ地方でたくさんの人々との出会いを重ねています。

一公演重ねることにお大師様の教えを感じ、感謝を頂きます。高齢の我々がいつまで続けていけるかわかりませ

んが、それぞれを思いやり感謝を忘れないで続けたいと思います。また今回も犬飼山転法輪寺様の会報のページを頂き、私達四人の大切な気持ちを振り返る機会を頂きました。感謝いっぱいでございます。

親切の形

坂田笑津子

クリーニング取次店で働いて、もう十三年になる。お客様も来店が重なる、うち解けているいろいろな話をされる。それぞれ好きな話題がある。Sさんの話題は料理だ。以前、食品関係の仕事に就いており、退職後も請われては、昔取った杵づかを発揮されているようだ。また高齢にもかかわらずピザやパスタ料理も得意らしく、感心して聞く私に詳しく教えてくれた。その姿は、とても誇らしげだった。

ある日、そんなSさんが焼きたてのピザを届けてくれた。「いつもお世話になってるから」と言つて。特別な親切など、した覚えがない。少し足が不自由なSさんが外に見えたらドアを開け、荷物が多ければ持ちに寄つていくぐらいのことだ。仕事として当たり前のこと。強いて言えば、話をよく聞いてさしあげたことだろうか。

少し前、ご主人が入院され、看病や、一人でする農作業の苦労話を聞いたことがあった。とりとめもなく話すSさん。私はただ、うなずいて「よう頑張らしたんですね」と言つたっけ……。

自宅療養中の御主人がパジャマの上に服を羽織つてまで、彼女の想いに付き添つて届けてくれた熱いピザ。ありがたくて胸がいっぱいになった。

人は誰でも、うれしいこと、悲しいこと、頑張つたことを聞いてもらいたい。よく頑張つたねと、ほめてもらいたい。話を聞くという親切の形もあるのだと、Sさんから教えられた。

だいすきだよ♪

小西優子

このたび、二人の子どもの出産・育児休暇を経て、四月から約三年ぶりに職場に復帰しました。それに伴い、私は新しい部署に異動となり、三歳と一歳の娘達は揃つて保育園に入園し、親子ともに新生活がスタートしました。

二人とも園で楽しく過ごしているようですが、お迎えに行く目があった瞬間、子ども達の表情が、ぱあつと晴れやかになり、ママ！と駆け寄つてきてくれることに何とも言えない喜びを感じます。お迎え後も遊びたがり、中々帰ろうとしませんが、少しお迎えが遅くなると二人とも泣いてしまうこともあるようで、子どもなりに小さな体と心で精一杯頑張つて、我慢もたくさんしているんだなあとと思うと、思いつきり甘えさせてあげたい、思う存分子どもの世界に寄り添つてあげたいと思う

のですが、まだまだ遊びたがる子どもを何とかなだめて帰宅し、夕食を作つて食べさせて、お風呂に入つて、洗濯をして、寝る用意をして……というスケジュールを前にすると、些細なことで感情的に怒つてしまうこともしばしばです。

すぐに、こんな程度のことでもこんな怒り方をしなくてもよかつたかな……と反省するのですが、子どもの溢れんばかりのパワーに抗えず、余裕のない自分がかかり……。また、特に下の子どもは体調を崩して園をお休みすることもよくあり、今しかない子どもとの時間を大切にしたいという気持ちと、一人として責任を持つて仕事がいという気持ちとの間で、自分は母としてこれでいいのだろうか……という思いに苛まれることもあります。

時間と体力と心の余裕が欲しいなと感じるそんな毎日ですが、一日の最後にはお布団の中で川の字になつて、「だいすきだよ〇〇ちゃん、だいすきだよ

お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良名を選ばせて頂いております。

△△ちゃん、だいきだよママのたからものくぎゅくつ♪」と歌って、二人を抱きしめることだけは日課にしています。特にお姉ちゃんは一緒に歌ってくれて、終わると嬉しそうに自分からおやすみなさいと眠ってくれるようになりました。

普段、一緒に過ごす時間が少なく寂しい思いをさせている分、「だいきだよ」の気持ちだけは、思いっきり伝えてあげたいなと思い、始めた日課が私にとっても子どもたちにとっても心から暖かい気持ちになれるとても大切な時間になっています。

今はまだ、ただ目の前のことをこなすのに精一杯ですが、いつか自分が子どもの頃に母にもらって嬉しかったことを、子ども達にもしてあげられるように、家族全員が元氣に出かけて、また元氣に帰ってこられる喜びに感謝しながら、新米ワーキングママとして、今日も一日「だいきだよ♪」のお歌の時間まで頑張りたいと思います！

あした天気になあれ

その参

小松裕衣

”記録的〇〇“というフレーズを何度も耳にした今年の夏も終わりを告げ、季節は秋へと移り変わってゆきま

す。
この夏、嬉しいことがありました。十年前、私が奈良県御所市の小学校で教壇に立っていたときに教えていた女の子が、わざわざ兵庫県まで会いに来てくれたのです。十歳だったMちゃんがもう二十歳！ 待ち合わせの駅の改札口から出てきた彼女が、一瞬だけだか分かりませんでした。

思えば教員時代に母のすすめで、奈良新聞の「子ども川柳」というコーナーに子どもたちの作品を投稿したのが始まりでした。毎週末の宿題に〈川柳〉と出すと、子どもたちは面白い作品をたくさん考えてきてくれました。

兄ちゃんの

制服もらって 強くなる

ごみひとつ

すてたら川が 泣いている

Mちゃんを直接担任することはなかったのですが、川柳を考えては私の所まで持ってきてくれました。教師を辞めても文通という形でつながることができ、彼女の成長を陰ながら応援してきました。

大人になったMちゃん、口を開けば、「ありがたいこと……」と若者らしからぬ言葉が出てきます。どんなことでも「ありがたい」と受け止める彼女の謙虚な姿勢に教えられる思いでした。

今では珍しい七人兄弟の四番目に生まれた彼女は、人よりも我慢することが多かったかもしれません。けれども、どんな時でも感謝の気持ちを持って生きよという両親の教えが家族みんなを幸せにしているのだと感じました。

十年を待たずに、また会いましょうと約束の握手をして別れました。若さつてすばらしい！明日があるつてすばらしい！次に会える日まで、私も感謝の日々を家族みんなで過ごしたいと思います。

にこやかな

お地藏さま

河内長野市

H・N

お地藏さまは、子どもを守る仏様として、多くの人達から崇められていきます。我が子が元気に育つように、お地藏さんに思いを託して、よだれかけや頭にかぶせる赤い頭巾を奉納するのだそうです。赤という色は「清く正しい」「正直な色」と信じられ、魔よけとして赤ちゃんに赤いものを着せる風習がありました。

七月二十四日の子安地藏尊法会后、高野山奥の院参道のお地藏さまに、新しいよだれかけを着けにお参りさせて頂いています。それは私はじめ檀信徒みなさまで作ったよだれかけです。私には五か月で死産した水児さんがあり、産後も中々体調が戻らなくて、寝込むことが多くなりました。それをきっかけに犬飼山の子安地藏尊にお参りさせて頂き、私の水児と共に、ご先祖様の水児供養もさせて頂きました。奥の院参道のお地藏さまは一体一体大ききや形、みな違うお顔をされていますが、皆にこにこと優しく見守って下さっているようで、思わず手を合わせます。これからも私たちを、生を受けず亡くなった水児たちを御守り下さいますように……。



まさと

編集後記

お盆を終えて

当山はもっぱら檀信徒の皆様にお寺まで足を運んで頂いて、ご祈願や法要を勤めることがほとんどですが、お盆のこの時期は皆さんのお仏壇の前まで上がらせてもらってお経をあげ、おしゃべりをさせて頂いています。

一年に一度のお出会いとなる方も多くあり、毎回新鮮な気持ちでのお参りです。

「あら、その子はだあれ？ えっ、お孫さんですのん！ まあ奥さん、いつのまにかお婆ちゃんになつとつたんですか！」

「玄関にいてた大きなワンコ、姿が見えませんが、どうかしましたん？ あら、冬に亡くなってしもたんですか。寂しなりましたね……。」

どのお宅にも、時の流れを感じるものがあります。寂しさもあれば、喜びもあります。良いこと悪いことのどちらかだけ、という家はないことも。自分自身もまた一歳を重ねたんだなとも……。

しかしながら、これだけたくさんのお家を見守る嬉しさを感じられるのは、お盆参りの喜びです。これもお坊さんの「役得」というものでしょうか♪

(9) 輪 法 轉

先祖彼岸
大供養会

九月二十一日(金)

九時半より

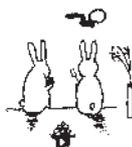
法話 十一時より

本山布教師

福岡県観光アドバイザー

福岡県 普門院

才田亮舜 僧正



先祖供養の申し込み

秋のお彼岸に、ご先祖様の御供養を致します。

当誌同封の申し込み用紙に、戒名命日等を記入してお持ちくださいませ。

供養を申し込まれたご先祖さまは、一年間教室において供養させて頂きませ。

遠方の方は送付して頂くか、FAXでの受付も可能です。法要前日(二十日)までに到着するようにご送付くださいませ。

供養料 一霊六百円

丹生、狩場明神感謝祭

十月十三日(土)

午前十時より

浦安の舞 奉舞

丹生都比売神社 巫女様

おもちまき

轉法輪寺は、空海大師様とお二人の神様の出会いから始まりました。狩場明神・丹生都比売明神に高野山を与えられてすぐ、その恩に報いるために高野山壇上伽藍には御社を、出会われた地には轉法輪寺を建立されました。

千二百年経つたいま、お大師様の功績は神仏和合の象徴として、世界遺産に登録されるまでになりました。檀信徒の皆様にも、お大師様が大切にされたマンダラの思想、それぞれの個性を大切にしながら織りなすものが理想の世界という思いに触れて頂きたいと思えます。ご参拝お待ちしております。

秋の四国巡拝にお参りしませんか？

讃岐一国参り ～88か所結願の旅～

平成30年11月12日(月)～15日(休) (3泊4日)

讃岐16ヶ寺、別格霊場2ヶ寺、高野山お礼参りの旅
宿泊場所：一日目75番善通寺、二日目81番白峯寺、三日目2番極楽寺

〈参加費用〉 一名 54,000円

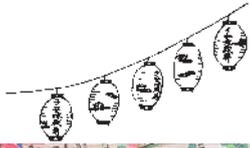
秋の香川県の霊場巡拝です。
さぬきうどんに舌鼓を打ちつつ、のんびりお参りしませんか？



毎月三回不定期で「タイコの会」を開いています。お経を唱えながらタイコを叩いてみませんか？

地蔵尊大法会盛大

去る7月24日



朝早くからたくさんの方にお参りいただき、
ありがとうございました 心より御礼申し上げます。



小学2年 丸山笑奈

7月24日、犬かい寺である子安地蔵尊大法会で沢山の人の前でおどったり手話をしながら歌わせてもらいました。

とてもきんちょうしました。でもみんなでたくさん練習してきたのでがんばりました。みなさん

がいっぱいはくしゅをしてくれたので、とってもうれしかったです。

おわってからもマジックショーやけしゴムはんこたいけん、スタンプラリー、ヨーヨーすくいなのでたくさん遊ばせてもらえて楽しかったです。

〈七五三まいり〉 11月中、七五三のご祈祷を行います。
お子様の健やかな成長を祈ってどうぞお参り下さい。